

発行日／平成 26 年 11 月 1 日

発行所／公益社団法人大阪府建築士会

540-0012 大阪市中央区谷町 3-1-17

会長・副会長

岡本会長が日本建築士会連合会副会長に就任

岡本森廣会長は 6 月 13 日に(公社)日本建築士会連合会の副会長に就任しました。また、8 月 26 日付で国交省が所管し、建築士処分の審議等を行う「建築士中央審査会」の委員に就任しました。

会長・副会長

岡本会長他が大阪府内市町村を訪問中

岡本会長・副会長他は、地元建築士とともに大阪府内の 43 市町村を訪問し、災害時やまちづくり等での本会と行政の連携を呼び掛けています。

〈枚方市長との懇談〉



運営委員会

徳島県建築士会との交流会を開催

8 月 29 日、両会の正副会長・理事による交流会を催し、事業における協力を行うことを確認しました。その一環として、ハルカス講習会では、19 名の徳島県建築士会会員の参加がありました。

運営委員会

建設専門新聞社記者会見を実施

9 月 24 日に業界紙 6 社を本会に招き記者会見を開きました。会見では歴史的建築物の保存・活用に取り組む「ヘリテージ部会」と、中古住宅の流通を促すための住宅調査を行う建築士を養成する「インスペクション部会」の活動を本格化することなどを発表しました。

理事会

尾亀清四郎名誉顧問からご寄附

尾亀氏が 100 歳を迎えられたことを記念して 500 万円のご寄附があり、公益事業活動等に活用することを目的に「尾亀清四郎百寿記念基金」を創設しました。

運営委員会

建築士試験が終了、受験者数は今年も減少

平成 26 年建築士試験は 10 月 12 日の一級・木造建築士の設計製図試験をもって終了しました。建築士試験は、平成 21 年より受験者数が年々減少しており、大阪の一級学科の受験者数は、平成 21 年 3,394 名が今年 2,048 名に減少しています。これは平成 20 年 11 月の建築士法改正で受験資格の見直しや、社会的な少子化等が要因とみられています。

建築表彰委員会

第 34 回大阪まちなみ賞審査スケジュール

本会が主催事務局を務める第 34 回大阪まちなみ賞は応募を締め切り、9 月 25 日の幹事会、10 月 6 日の書類審査、10 月 21 日の現地審査・最終審査を経て 12 月に表彰します。

社会貢献委員会

地域貢献活動を行う 2 団体に 20 万円を助成

本年度の地域貢献活動助成は、大阪の古写真を収集してまちづくりに活用する「住みよいまち&絆研究所」と、貝塚寺内町と紀州街道沿いに残る登録文化財等の町家に雛人形を展示して伝統的建築物の価値をアピールする「特定非営利活動法人摂河泉地域資

源研究所」の 2 団体に各 10 万円を交付しました。

事業委員会

住まいのなるほどセミナーに講師を派遣

女性分科会は、大阪市立住まい情報センターの協力依頼で、5 月 3 日と 6 月 14 日に大阪市主催の市民向け「住まいのなるほどセミナー」で講義を行いました。

研修委員会

建築士会 CPD 制度に 1,392 名が登録

平成 14 年に建築士会 CPD 制度の運用を始め、平成 22 年には建築士以外の建築技術者の登録も可能となりました。

現在は会員 1,136 名、非会員 256 名が登録されています。

研修委員会

定期講習は各回ほぼ満席の状況で実施中

本年度は、これまでに 897 名の方が受講されて、各回ほぼ満席で実施しており、11 月 20 日はすでに満席です。今後は 1 月 28 日、3 月 25 日に開催しますので、対象の方は早期に受講してください。



研修委員会

木造耐震診断・改修講習会を実施中

本会の耐震診断・改修講習会の修了者は、大阪府震災対策推進事業補助採択基準による大阪府内市町村の補助を受けることができる講習として実施しています。なお、本講習会は耐震改修促進法の定めによる登録講習ではありません。

「あべのハルカス」から最先端の建築技術を学ぶ

日 時 2014 年 10 月 2 日(木) 13:00～16:50
会 場 あべのハルカス 25 階会議室
受講者 269 名

大阪府知事指定講習

田中光典(理事・研修委員会担当)

10月2日、あべのハルカスの会議室において、設計・施工を担当した株式会社竹中工務店のプロジェクト責任者、設計者、作業所長をお招きして～「あべのハルカス」から最先端の建築技術を学ぶ～をテーマとした建築技術講習会を開催しました。

「あべのハルカス」は、大阪第3のターミナルである天王寺、阿倍野エリアに立地し、駅の直上に建つ 300m の日本の高さを誇る超高層ビルです。その計画・建設にあたり「超高層集密都市」というコンセプト実現に向けた斬新なアイデアやデザイン、採用された最先端の技術、現場での工夫・苦労話など、最前線に立つ担当者から直接わかりやすいプレゼンテーションをいただきました。

設計の統括リーダーである原田氏からは、阿倍野の立地の読み解きにとどまらず大阪の都市構造、場所の歴史性の観点から導き出された大阪都市グリッドの形態操作について、上町台地に建つ「塔」であることの必然性や意義、また「あべのハルカス」が鉄道や都市インフラから積層された新たな垂直ネ

ットワークによるコンパクトな立体都市であることを美しい画像、写真とともに説明されました。

構造設計者の平川氏は、300m の超高層建物の極めて困難な構造的課題の解決法を「かたち・かこう・きこう」の切り口から、また設備設計者の坂口氏は、快適性と省エネの両立の解決法を高さ用途の複合性から導き出し、独自技術を丁寧に実験、検証しながら適用した経緯が詳しく語られました。

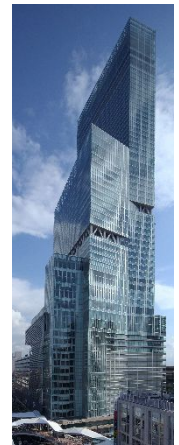
総括作業所長の穂山氏、作業所長の永野氏の話からは、密接した都市インフラ・人の流れの中で地下 30m、地上 300m の超高層の超難工事をいかに安全を確保しながら進めていったかが緊張感を持って伝わってきました。特に地上 300m での施工風景、台風時の映像など迫力満点で感動的でした。

「あべのハルカス」という最新の注目プロジェクトについての現地開催講習ということで、269 名の参加者も長時間にもかかわらず講師の話に真剣に聞き入り、終了後の質疑応答も活発なやり取りがなされるなど盛況なまま講習会

を閉会することができました。

参加された大半の方が展望フロアのオプションツアーにも申し込まれ、地上 300m からの大阪の夕景を想い想いに楽しんだ後、帰途につく光景を見ることができました。

あべのハルカス全景→



展望台・講習風景↓



建築物耐震評価業務のご案内

※詳細は本会ホームページをご覧ください。URL : <http://www.aba-osakafu.or.jp/>

本会では「建築物耐震評価委員会」を設置し、申込者の行った耐震診断や改修計画の妥当性を判定する評価業務を行っており、一般財団法人日本建築防災協会の「全国耐震ネットワーク委員会」に登録しております。

建築物耐震評価案件は、ぜひ本会にお申込みください。

【対象建築物】

建築物の所在地(全国)、公共・民間の別、規模、構造種別は問いま

本会会員は評価手数料 10%割引

せん。

安価な評価手数料の設定をしてお

スピーディな審査

り、本会会員は 10%割引します。

可能な限り短期間で評価書を発行できるように努めております。

【実績事例】某ホテル

- ・10 階建
- ・不整形 SRC 造 38,000 m²
- ・耐震診断(3 次診断)及び改修計画の総合評価

⇒申込み後、約 60 日間で委員会評価終了

【学識委員】敬称略

大野義照／大阪大学名誉教授

坂 壽二／大阪市立大学名誉教授

倉本 洋／大阪大学教授

土井 正／大阪市立大学大学院

准教授

【問合・申込】

公益社団法人大阪府建築士会事務局までお願いします。